

令和2年度 学校評価一覽表

羅 針 盤			方 策	自己評価①	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	改善策
I 保護者・地域との連携	1, 学校の様子や生徒の活動の様子を地域や保護者に知らせ、協力できる環境を作っていますか。	①「学校や子どもの様子が分かる」と保護者や地域の80%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○欠席等で心配な生徒に対してのこまめな電話連絡や家庭訪問の実施 ○各種通信や学校Webページ、緊急メールアシスト等の情報発信の充実 ○感染症対策を講じながら、保護者や地域の方が参加できる学校行事の在り方の検討および、実施 		
	2, 地域の教育資源の活用が推進されていますか。	②各教科・領域で地域の教育資源(施設、人材、自然環境等)の活用を年2回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等部会や各学年部会での積極的な地域の施設の活用や人材、地域教材の活用の推進 ○各学年ごとに総合的な学習の時間において、地域の施設に目を向けた体験活動やボランティア活動などの実施 		
II 確かな学力	1, 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	①基礎学力を身に付け、「授業が分かる(できる)」と生徒の80%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ○数学や英語、体育での少人数指導やTT指導などのきめ細かな授業実践 ○学力向上推進委員会を中心とした授業改善のための相互授業参観の実施や教科部会の設定 ○校内研修を中心とした教師相互の質的向上を目指したOJTの推進 		
	2, 新型コロナウイルス感染症による休校期間を踏まえ、限られた授業時数の中での学習指導の質的向上を図っていますか。	②学習指導の質的向上のため、年間指導計画を適宜見直し、学習指導に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策を踏まえ、定期的な授業時数管理や行事予定の綿密な計画 ○週案簿による個々の教員の時数管理 ○特設授業日(週間)の設定や曜日の入れ替え 		
	3, 自主的な学習習慣が生徒に付いていますか。	③週平均して1時間以上の家庭学習を生徒の80%以上が行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の学習内容を更に家庭学習で深化させたり、調べさせたりするような工夫した宿題の提示 ○授業と関連を図ったスタディサプリの活用 ○自主学习ノートの活用 ○家庭学習通信や学力向上通信の発行による、家庭学習への啓発 ○定期テストに向けた学習計画の立案指導 		
	4, 読書をする習慣が身に付いていますか。	④生徒の80%以上が1ヶ月に1冊以上、読書している。	<ul style="list-style-type: none"> ○図書委員会を中心とした、生徒主体の読書啓発活動の推進 ○学校Webページや各種通信を活用した、学校図書館の蔵書紹介や読書推進活動についての情報発信 ○「読書センター」にとどまらない、各教科・領域、総合的な学習の時間を中心とした「学習・情報センター」としての学校図書館の活用 		
III 豊かな人間性	1, いじめのない温かい人間関係を育てていますか。	①「学校はいじめや悩みの解消に努めている。」と生徒の80%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校生活アンケート」や「Q-U」を活用した早期発見・早期対応 ○スクールカウンセラーや心の相談員との連携 ○生徒会活動や学校行事を通しての生徒間のよりよい人間関係の育成 ○学級活動や道徳における「豊かな心」の育成 		

九月下旬に、保護者の方、生徒、職員を対象に取組を評価するためのアンケートを実施します。
 その結果を受け、自己評価を行い、さらなる教育活動の充実のための改善策を考えさせていただきます。
 改善策を策定し次第、再度、公開します。

	2, 生徒は時と場所に応じて適切な言動をとっていますか。	②すすんであいさつや返事ができる生徒が80%以上である。	○教師の率先したあいさつの励行 ○生徒会による「あいさつ運動」の推進 ○PTAによる朝の交通指導の実施 ○授業中の返事や発表時の声の大きさの指導徹底 ○小・中連携のあいさつ運動の実施		
IV 心身の健康と体力	1, 生徒は新しい生活様式を踏まえながら、基本的な生活習慣を身に付け健康の保持増進に努めていますか。	①新しい生活様式を生徒の80%以上が実践している。	○栄養教諭や学校医等と連携を図り、感染症対策のための新しい生活様式を生徒への周知活動の実施 ○学校Webページや各種通信による保護者への啓発		
		②一日6～8時間の睡眠時間を生徒の80%以上がとっている。	○学級活動での睡眠と健康についての学習活動の実施 ○保健だよりや学校保健委員会などを通じた「睡眠の大切さ」についての生徒、保護者への啓発活動の実施		
V 安全確保・施設管理	1, 危機管理マニュアルを理解し、施設・設備の安全管理・危機管理を徹底していますか。	①学校は学校生活における事故や災害時等について、安全危機管理マニュアルを確認し、年2回以上全教職員での職員研修を実施している。	○危機管理マニュアルの共通理解 ○職員研修の実施 ○月1回の安全点検の実施 ○授業中・休み時間・部活動中等の事故防止の徹底 ○感染症対策を踏まえた、教師や生徒の意識を高めるような避難・防犯訓練の工夫		
	2, 交通事故や不審者対策を十分にとっていますか。	②学校は、定期的、継続的な交通安全指導や毎日の下校指導を行い、地域の危険箇所への対応策を講じている。	○定期的、継続的な交通安全指導の実施 ○安全指導の充実を図るための全職員による毎日の下校指導の実施 ○地域内の危険箇所に関する生徒からの情報の収集と対応		
VI 進路・生き方	1, 生徒は将来の夢や希望をもっていますか。	①将来の夢や希望する進路について生徒、保護者の80%以上が家庭で話し合っている。	○進路学習での将来の夢や進路についての各家庭への情報提供 ○1、2年生の進路希望調査の実施 ○進路だよりの発行とWebページへの掲載 ○校内研修の充実		
VII 組織運営	1, 学校の教育目標の達成に向けて教職員が一致団結し、「チーム三中」「三中スタンダード」を意識した実践に取り組んでいますか。	①90%以上の職員が仕事内容を理解し、職員間での共通理解の下、主体的に学校運営に関わっている。	○学校長のリーダーシップのもと、運営委員会のメンバーを中心とした組織的な学校運営の実施 ○的確な報告・連絡・相談に基づいた「チーム三中」として連携を図った教育実践の推進 ○共通実践のための「三中スタンダード」を意識した教育実践の推進		
	2, 校内研修は、教師の資質向上のために行われていますか。	②90%以上の職員が校内研修の主題や取組等を理解し、授業改善や資質向上研修に対して前向きに取り組んでいる。	○校内研修全体会の定期的な開催 ○各教科部会や各学年部会で連携を図りながらの授業改善の推進		
	3, PDCAサイクルによる学校評価を行い、改善策を具体化していますか。	③90%以上の職員が学校課題を理解し、そのための改善策に取り組んでいる。	○学校評価の分析結果を共通理解し、各校務分掌、各学年部会や各教科部会を中心に改善策の検討と実践		

評価	x : 自己評価3, 4の割合の合計	割合 : x
A	十分に達成できた	$90 \leq x$
B	達成できた	$80 \leq x < 90$
C	もう少しで達成できた	$70 \leq x < 80$
D	達成できなかった (がんばろう)	$x < 70$

